遠野市記者発表資料
平成 23 年 5 月 26 日
環境整備部都市計画課

震災に負けない！
―「縁」が結ぶ復興への『絆』―

縁プロジェクト

『縁』がつなぐ仮設住宅の整備について

【発表の要旨】
東日本大震災により住宅を滅失した被災者で遠野市内に避難している方々が、被災地が復興するまでの間、安心して暮らせるための応急仮設住宅を市内に整備します。

【発表の内容】

1　事業の概要

■事業名　　「縁がつなぐ仮設住宅整備事業」
■建設地　遠野市穀町７番地地内／敷地面積　約 5,000 ㎡
■木造仮設住宅（集成パネル）40 戸（7.5 坪…12 戸／9 坪…22 戸／12 坪…6 戸）
■仮設集会所兼サポートセンター（木造）１棟（約 100 ㎡）
■木製デッキ　300 ㎡／簡易舗装　100 ㎡／屋外給排水設備他
■整備期間　　45 日〔岩手県の仮設住宅の建設終期　７月の上旬〕
■事業費　　２０３，７３６千円

2　事業のコンセプト

地元に帰るまで安心して住める仮設の街
（１）周辺環境と住宅地
・商店街、医療施設、コミュニティ施設は既に周辺に整備されている
・敷地にはサポートセンター（ディサービスセンター、子どもの一時預かり施設を想定）を計画
（２）ケアゾーンの計画
・「子育てケア世帯エリア」「要ケア世帯エリア」の計画
・「路地デッキを介したコミュニティ形成」の創出
（３）コミュニティ形成の促進
・デッキ広場は地域住民も利用
・「朝市」「映画上映会」などの場となる

3　入居募集について

（１）平成 23 年 6 月 1 日から環境整備部都市計画課で受付開始（予定）
（２）入居開始　平成 23 年 7 月中旬開始（予定）
（３）**入居対象**
①　市内に避難している世帯（但し、あらかじめ実施した意向調査で入居希望者優先）
②　応募状況を見ながら、内陸市町村に避難している世帯に募集拡大

4　木造仮設住宅の内容

建設には市内の建築関連団体の協力を得て取り組み、主構造部には地域材を活用した木材の集成パネルを組立てる工法により工期の短縮を図り、早期完成を目指す。

担当	環境整備部都市計画課（石橋　欣也） 電話 0198-62-2111（内線 143 ）